

12月教育委員会定例会議事録

午後 1時29分開会・開議

令和2年12月16日（水）

午後 1時54分閉会・散会

令和2年12月16日御坊市教育委員会定例会を御坊市教育委員会会議室に招集

議事日程

日程第1 議事録署名委員の指名

日程第2 会期及び時間の決定

日程第3 前回の議事録の承認

日程第4 教育長の報告

日程第5 その他

(1) 行事予定について

(2) 12月定例市議会における一般質問について

(3) その他

日程第6 次回開催日の決定

委員等定数 5名

出席委員等（5） ・奥 幹夫教育長 ・柚瀬真規子委員 ・坂田 豊委員
・文蔵武人委員 ・芝崎二郎委員

欠席委員 （ ）

説明のため出席した者の職・氏名

・生涯学習課長 森 田 誠 ・教育総務課長 阪 本 興 平

本委員会の書記の職・氏名

・教育総務課長補佐 細谷 真名美

◎ 開会及び開議

○ 教育長から開会を宣告する。

◎ 日程第 1 議事録署名委員の指名

○ 教育長から議事録署名委員に、坂田 豊委員を指名する。

◎ 日程第 2 会期及び時間の決定

○ 教育長から本委員会の会期を本日限りとし、閉会予定時刻は午後 2 時 30 分を目処としたいとの提案をした。出席委員に異議なく、会期及び時間を決定した。

◎ 日程第 3 前回の議事録の承認

○ 教育長が、全委員に対して意見等を求めたところ、特段の異議、意見等なく、これを承認することとした。

◎ 日程第 4 教育長の報告

1. 日高地方定例教育長会

今回は、12月4日に行われました定例教育長会の報告のみになります。

まず、いつものように紀南教育事務所の担当指導主事からそれぞれ事務連絡があり、その後、議事に入りました。議事についてですが、1点目は学校管理及び運営に関する実施報告書と実施計画についてです。実施報告書は、その年のまとめということで例年、3月末に提出してもらっています。それから、実施計画については、来年度の計画を4月中に提出してもらおうというかたちになります。それらをそれぞれ各学校から提出してもらいます。その内容は、学習指導要領の関係等で年によって違いも出てきますので、例年、この教育長会で中身についての協議をしています。その協議したものについては学校で報告してもらおうというかたちをとっています。その実施報告書及び実施計画の内容についての協議をしました。それが1点目です。

それから2点目は後援依頼についてです。来年、令和3年度に日高地方で和歌山県連合小学校長大会が開催されるということです。県の小学

校の校長会を日高地方でやるので、その後援をしてほしいということでしたので承認をしました。それが２点目です。

３点目は、いつもこの時期に色々意見交換をしているのですが、今回はコロナウイルス感染症の対応をする中での学校運営ということで、それぞれ情報交換をしました。今回は冬休みが始まるので、主に冬休み中の児童生徒へのコロナに関わっての対応や、また保護者にお願いすることがありますので、そのようなことについての意見交換をしました。

あと４点目ですけども、今後の予定ということで、１月から人事関係のヒアリング等がどんどん入ってきますので、そのあたりのことも含めて日程の確認を行いました。

定例教育長会の主だった内容はこのようなところです。

２．その他

和歌山県の管理職選考の２次の結果について、御坊市内の状況を報告した。

◎ 日程第５ その他

（１）行事予定について

○ 教育総務課長から、行事予定について報告した。

（２）１２月定例市議会における一般質問について

○ 教育総務課長から、次のとおり報告した。

１２月８日の定例市議会におきまして、教育委員会関係では２名の議員から質問がありました。

村上宗隆議員から「県立高校の再編成と在り方について」ということで、「教育委員会としての今後の対応についてどうしていくのか」という内容の質問があり、教育長から、「きのくに教育審議会から出た再編整備についての答申では、出生数から、予測可能な１５年後を想定して県立高校の在り方を考えています。それによると、１５年後の中学校卒業生徒数がさらに減少していくということであり、生徒の持っている能力を伸ばしていくことができる環境を整え、高校教育を充実していくことも考えられます。ただ、本市の進学先の現状を考えれば、生徒は、日高高校、紀央館高校のそれぞれの特性を踏まえ、進路を決定し、目的意

識をもって進学しています。そういうことから、中学校の進路指導上、選択肢として地元に２校があるということは必要だと考えています。今後の対応につきましては、意見や相談があれば聞かせていただき、検討していきたいと思います。」と答えていただいております。

次に、小川春美議員から、大きな２点の質問がありました。１点目は、学校給食の事務負担の軽減についてで、「各学校の給食費事務はどのような仕事があるのか」と「給食のシステム変更で事務の負担軽減はできているのか」という質問でした。これについては、私の方から「学校での給食費事務は、新入学生への説明と振替口座の登録、翌月の給食数と金額を給食管理システムに入力、給食数に変更があった場合の給食センターへの連絡、確定した給食数と金額を給食管理システムに入力、要保護・準要保護・特別支援学級在籍生の学校給食費明細書の作成等です。また、給食管理システムの改修については、現場で実際にシステムを使用する教職員から出されていた「使い難い点」の声を受けて、見やすくするために画面のレイアウトを変更し視認性を高め、また、簡素化するために不要なメニューボタンをなくし、初めて使用する人でも使いやすいように改修しました。このことによって、負担軽減は図られたと考えております。」とお答えしております。

小川議員の２点目の大きな質問は、「きのくに教育審議会答申の高校再編について、答申内容を説明してもらう機会を設けられないか」ということで、これについても私の方から、「先日、ある市民の方からも問い合わせがあり、県教育委員会に問い合わせをしたところ、個人での要望にはお応えできないが、例えば、ＰＴＡや高校の同窓会などからの要望があれば、対応していきたいとの返事をいただいております。今後、市教育委員会に対し、このような要望があれば、市教育委員会としても対応していきたいと考えています。」とお答えしております。

- きのくに教育審議会答申については、教育長から、「お配りしている答申についての冊子ですが、これが、８月に県から出されました。そして、これに基づいて再編を進めていましたが、少しスケジュールが変わってきました。県は、１２月中に「再編整備実施プログラム案」を出すといっていたのですが、もっと意見を聞く必要があるのではないかとい

うことで、高等学校ごとに懇談会を開いて意見を聞く、そういう場を持つということです。それを１月に開くということで、１２月に出す予定のプログラム案が遅れてくるため、３月に予定されている「再編整備プログラム」の策定が、次の年へ延びていくことになるかと思います。

県立高校の再編ということなのですが、結局、進学のことを考えた場合、中学生や小学生にも影響が出てきます。懇談会の詳細は、来週に県から届くと思いますが、今、聞いている範囲では、対象は高等学校関係の人、小中学校関係の人、それから地域の住民です。そういう人を対象にして、御坊市の場合ですと、日高高校と紀央館高校でそれぞれ懇談会を開き、県の再編に対する考え方を説明して、それについての意見を聞かせてもらいたいということです。市の教育委員会としては、小中学校へ懇談会の開催について連絡をし、保護者に周知してもらおうということになるかと思います。

県内に２９校ある県立高校を２０校くらいにするということで、どこを減らすかということが一番注目されるところですが、そういうことも含めて、もう少し説明をしていただきたいと思います。」との説明があった。

(３) その他

- 特になし

◎ 日程第６ 次回開催日の決定

- 教育長が次回開催日について出席委員に諮り、１月２０日（水）午後１時３０分からとした。

◎ 閉会及び散会

- 教育長から令和２年１２月１６日（水）の御坊市教育委員会定例会の閉会を宣告する。

閉会時刻 午後 １時５４分 閉会・散会

上記会議の顛末を記載し、相違のないことを証するため、ここに署名する。

教 育 長

署名委員